



馬車道通信

「伝わる写真を撮るためのポイント」が学べる!

広報・記録
のための

デジカメ写真 入門講座



講師：大向 哲夫さん

イベントや行事・研修会の様子・・・参加してくれた人の気持ちや会の雰囲気は、どんなにたくさんの言葉を並べるよりも一枚の写真の方が、よりダイレクトに伝わります。

今では一般的になった、誰でもカンタンに使えるデジタルカメラを活用し、人の心に伝わる写真を撮るコツを学びます! プロの写真家による、分かりやすくポイントをまとめた大人気の入門講座です。

- 日時：7月2日(水) 9:30~12:30
- 会場：横浜市青少年育成センター 第1研修室
- 対象：①青少年に関わる活動や団体・施設スタッフ
②非営利組織や活動において、広報・PR活動に関わっている人等
- 定員：30名
- 参加費：1,200円
- 持ち物：筆記用具、デジタルカメラ(機種は問いません)
- 申込み/問合せ：
横浜市青少年育成センター
TEL:664-6251 FAX:664-6254
E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp
○電話又はE-mail, FAX, 施設窓口
○氏名、連絡先、所属団体等(あれば)をお伝え下さい。
○6月11日(水) 10:00より先着順



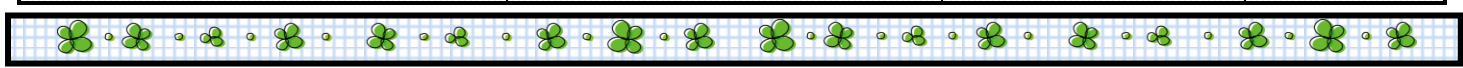
相談・情報スポット No.9 から

助成金を活用しましょう!

子ども・若者や子育てに関わる活動の充実には、財源の確保が不可欠です。現在募集中の助成団体を掲載しました。ぜひ活用し、活動を充実させていきましょう。

※この他にも情報があります。詳しくは窓口のスタッフにお尋ね下さい。

助成制度名(公募先)	助成対象	助成金額	募集期間
博報賞 公益財団法人 博報児童教育振興会	小・中学校を中心とする児童・生徒に対する日常の教育現場で尽力されている学校・団体	上限額 100万円 (1件あたり) ※5部門で20件前後	4/1~6/30
子ども文庫助成 公益財団法人 伊藤忠記念財団	子どもの読書活動を支えている団体	各助成による	6/30
放課後児童クラブ施設整備事業 一般財団法人 こども未来財団	「放課後児童健全育成事業実施要綱」に基づく事業を行う、放課後児童クラブ室を設置する団体	上限額 1500万円	6/30
子育て支援拠点環境改善事業 一般財団法人 こども未来財団	子育て支援拠点の環境改善をしたい団体	上限額 500万円	6/30
青少年健全育成関係研究助成 公益財団法人 マツダ財団	「青少年の健全育成」に係る市民活動の活性化に役立つ実践的な研究を対象	上限額 400万円	6/30



利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

『監査懇話会音楽演奏同好会』（スタジオ利用）

ヤマハ音楽教室フォーク村での団魂世代を中心とした、ギター仲間のバンド「Capo」です。ギター、エレキ、ベース等の構成で、フォークソングを中心に1～2回/月の練習を通して交流を深めています。

＜豊田 博之さん：監査懇話会音楽演奏同好会代表 談＞

《イベント案内》

- ◆今年6月に他のバンドと連携して、自主ライブを開催する予定です。



若い人へのメッセージ・・・

ギターを通して素晴らしい仲間と巡り合い、楽しく有意義な第二の人生を過ごしています。今から思うと、もっと若い時からギターに取り組んでおけばよかったかなと思います。皆様も勉強、仕事と併せて、若いころから趣味を持つようにすると、一層楽しい有意義な人生を送れると思います。

馬車道コラム Vol. 24 ドラマーN君との再会



初夏のある日、ある若手のジャズ・ドラマーN君に会い、馬車道から数分のライブハウス「B」に入った。「B」は横浜でも一流のミュージシャンが出演するジャズスポットとして有名な場所だ。

かつて、自宅の近くに「レフトホース」という、ショット・バーがあった。週末になるとジャズのライブがあり、彼はそこのレギュラードラマーとして活躍していた。音楽大学の学生でありながら、ベテランの演奏者と共演しても遜色のないレベルの高い演奏に驚いた。彼のドラムを聴いて以来、週末になると、彼のドラムを聴きに行った。そして彼が22歳を迎えた時、彼はボストンにあるパークリー音楽大学に留学するため、アメリカに旅立っていった。

あれから10年。もう随分前に帰国していたことは知っていたが、「果たして自分を覚えてくれるだろうか？」という不安もあり、なかなか会いに行く踏ん切りがつかなかった。この日の「B」でのライブはたまたま親交のあるバンドメンバーが多かったことで、会いに行く決断ができた。

席に着き、いよいよファースト・ステージが始まる直前だった。「〇〇さん、お久しぶりです」という声が出た。そこには、10年ぶりに会うN君が満面の笑みを浮かべて立っていた。覚えていてくれたことの嬉しさに思わず、泣きそうになってしまった。（歳をとると、やはり涙腺が弱くなってしまうのだ。）

流麗かつ力強いスティックさばきに彼の成長を感じるとともに、長らく離れていた息子に再会できた喜びに近い感情を味わうことができた。

（ジャズおやじ）

スタッフのつばやき・・・

「ワールドカップがやってくる！」

15日から始まるサッカーW杯。楽しみです。先日は「日本代表壮行会」にも参加し、気分も一層高まっています。しかし今回は放映時間が微妙…。試合によっては生で見られないかもしれません。勤務中ソワソワしないようにしないと…。＜センター長 七澤＞



【お申込み/お問い合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター/ TEL: 045-664-6251 FAX: 045-664-6254 E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp